

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 51 (年4回発行)

■発行日 平成21年1月1日
■発行 三春まちづくり協会
■編集 三春まちづくり協会広報部会
三春町字大町178 (旧公民館内)
TEL/FAX (62) 3988

特集

「協働のまちづくり、 三春の行政諸課題について懇談」 ―町長・議長も出席してのまちづくり懇談会開催―

去る十一月十二日、三春交流館まほらにおいて三春まちづくり協会主催の「平成二〇年度まちづくり懇談会」が開催されました。これは、三春町が取り組んでいる行政諸課題について町担当者の説明をもとに、町民から質問や意見を出しながら懇談することにより、相互の理解と認識を深め、今後のまちづくり協働に活かすため毎年企画されています。

当日は、町長はじめ役場幹部職員、議会から正・副議長はじめ多数の議員も出席するなど懇談会に対する意気込みが感じられ、参加した町民の皆さんからも身近な課題について質問や意見が活発に出されました。【紙面の関係で、説明及び質疑応答等の内容については主な項目のみ要約して記載しています。】

◇鈴木町長「幕田協会長を中心に、理念を持ったまちづくり活動の展開に敬意。町の各事業推進に対する日頃の協力

「あいさつ要項」

◇鈴木町長「幕田協会長を中心に、理念を持ったまちづくり活動の展開に敬意。町の各事業推進に対する日頃の協力

新年のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

三春まちづくり協会長 幕田 勝 寿

今年度日帰り研修を実施し、喜多方市で取り組んでいる太極拳を勉強して有意義な研修となりました。まちづくりの中心課題を町会議員の皆さんと一堂に会して意見交換を行っております。また、毎月第二水曜日には、定例の出前懇談会を開催しております。更に、健康づくり、地域づくりを図るため町民球技大会にも援助等を行っております。

協会には六つの部会があり、それぞれ部会長を中心に事業活動に取り組んでおります。今年も町民の皆様のご協力をいただき、住みよいまちづくりに努めてまいります。年頭にあたり皆様さんのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。

後とも町民の理解と協力が必要と考えている」

◇本多議長「町の事業にそれぞれの立場で協働に関わるのが重要。議会としても五年前から町と一緒に懇談会に参加し、町の事業について町民の皆さんの意見をお聞きしている。少子高齢化という厳しい時代であるが、後世を見据えたまちづくりが必要。各地域で実施してきたが、それぞれの地域で抱える問題がある三春地区でも忌憚なく意見を出して欲しい」



「町説明事項の概要等」

○火災警報器の悪質な訪問販売

売業者には充分注意！…消防法の改正により早期報知で人身被害と建物延焼の抑制に効果のある住宅用火災報知器の設置が義務化。三春町消防団で幹旋中。【詳細は、広報みはるの六月号を参照ください】

Q町で設置する町営住宅の進捗状況はどうか。
A昨年と今年で全住宅に設置完了の予定。居住者事情で未設置が二、三軒ある。

【少子化対策への取り組みについて】

○新規施策の導入で子育て環境の充実：妊婦検診、乳幼児検診、育児サークル支援、ファミリーサポートセンター支援など従来施策の継続・拡充に加え、ふれあい交流会事業への助成、すくすく赤ちゃん応援、多子世帯養育支援、親育て・子育て学びふれあい事業等を新規に展開。

Q町立三春病院の産婦人科診療は週一回のようだが、今後の見通しはどのようになるか。
A全国的に産科医員の確保が困難な状況。妊婦検診の回数を増やし、分娩は星総合病院という方法も検討中。

Qふれあい交流会の実施状況はどうか。
A七月開催では男性一九名女子二〇名の参加があり、何組かは交際しているようだがその後の報告は受けていない。

【長寿（後期高齢者）医療制度について】

○七五歳以上は全員老人保健制度から移行：医療費負担は従来どおり、保険料は均等割額と所得割額で算定し原則年金から直接徴収。個別のケースは、町担当課に

照会。（町の出前懇談会も活用可）

Q七五歳以上（後期高齢）該当者数と、新医療制度で従来の制度より保険料の負担が変化した者の数及び今後の保険料負担の動向はどうか。
A現在の対象者は約二、六〇〇名。負担の変化についてはデータが手元にないので別途回答する。所得による軽減措置については国が負担する。現段階では変動要素が多く明確な見通しは出せない。

Q県立病院はマイナスの見通し。町立三春病院の運営状況はどうか。
A外来は二〇〇〜二一〇名程度で従来二〇〇名より減少傾向、産科の影響か。入院施設は八六床あるが、現在四五名程度で従来三〇名より増加傾向、リハビリ科新設で利用増。正式データがなく不明だが、黒字ではないと推察。しかし、来年は好転するものと考えられる。

Q敬老園の移転計画があるが、入居者の現況はどのようになっているか。
A定員は八〇名。現在は六五名、移転後の入居希望者数はわからない。広域施設なので、町内だけでなく、県内や全国で希望者があれば入居できる。

【二級河川・桜川河川改修事業等について】

○改修事業の概要：期間は平成二〇年度〜二四年度、区間は小滝地内〜八島川合流付近の約二、七kmで概算事業費約六〇億円。

○景観や土地利用にも地域の意見反映：景観検討委員会による景観デザイン検討やまちづくりワークショップによる調査業務等に、地域

住民の意見を反映。○関連する道路の改良・整備計画も調整：流域沿線に関する町道・県道・国道等を総合的に勘案し、効率且効果的に道路改良工事が進捗するように計画調整。

○立退き移転の代替地（建物）対策に空き家・空地を幹旋：提供可能な空き家及び遊休地情報提供を広く町民へ呼びかけ町が幹旋。

Q用地対策の協力を合わせ、景観対策も新しい景観法に合致した景観条例に改正してはどうか。
A「美しい町をつくる景観条例」を全面改正し、地域で進める土地利用計画条例に沿って桜川河川改修工事に活かしていく。

【三春町立中学校再編（案）説明会の各地区開催状況について】

○中学校再編計画案説明会の実施状況：全地区及びPTA対象に実施済み

Q中学校再編計画（案）の概要を教えてください。
A少子化の進展による生徒数減少に伴う学校運営の適正化が急務。岩江中は当面現状とし、その他は統合。貝山町宮Cグラウンドを予定地とし平成二五年四月開校目途に建設計画策定。併せて施行計画、通学方法、空施設利用計画等の詳細も検討中。

【その他の報告事項】

①出前懇談会
②三春町選挙投票率
③三春秋まつり二〇〇八開催結果について。

【詳細については、役場関係担当へ照会ください。なお、当日配布の資料がまちづくり協会にあります。】

部会だより

喜多方市視察研修 (十月十四日)

三春まちづくり協会

副会長 長沢 晟

まちづくりの基本理念が
安心安全、自主自立、継続
発展であることは、よく知
られている事実である。

私なりに、イメージする
と、顔見知りが多く、共通
の話題や興味関心が同じで
だれもが住みよく生きられ
る町。他の市町村の人々か
ら、自分のところにもあれ
ばいいなと思わせる活気、
人情、景観、三春らしさの
イベント等で良い評価のあ
る町。……自分勝手なイ
メージです。

人それぞれの想いは違う
でしょうが、それぞれの生
きた現実「今」がやがて過
去のものとなり、時代認識
になる訳です。この時期に
故郷が生まれます。故郷の
造型に関わる、故郷の造型
を見ていることが、まちづ



くりかた考えます。

視察研修ですが、イメー
ジした他の市町村の人々の
視点で、先進地を調べ、見
識を広げ、今後の活動に役
立てるため喜多方市に行き
ました。まちづくり協会の
運営委員が、太極拳の評判
のよさ、先進地の評価を与
えたからです。

呼びかけに応じて、当日
二十三名参加。役場のバス
に揺られて、一路喜多方市
役所へ。待ち受けていた太
極拳は、楽しくやさしいも
のでした。気がつけば三十
分経過。相変わらず職員は
ニコニコしていました。こ
れが太極拳宣言にある極意
「もてなしの心」かと合点
しました。

生涯学習部会

子育て支援センターを
見学して

中村 秀子

子育て支援センターは、
第二保育所に併設され、小
さな子供が興味を持てるよ
うに、様々なおもちゃや遊
具が並べられていました。
保育士さんは、遊びの様子
を見守ったり、月一度の行
事を企画されていて、行事
の日、お母さんや子供さん
はいつもと違う体験も出来
るようです。何よりなのは、
育児相談にも対応できるよ
うに配慮されている事。子
育てに不安を持つのは、ど



んなお母さんにもある事
で

子供たちはたつぷり遊び
お母さん同士の交流も出来
育児の相談にも乗ってもら
える場の存在は、とても意
味のあることだと感じまし
た。たくさんのお母さんや
子供さんに利用してもらい
たいものです。

唯一気になった事は、再
利用という事で仕方ないの
かもしれませんが、コンク
リートの園庭が土であれば、
子供達はより安全に外遊を
楽しむことが出来るのでは
ないかと。

地域部会

部会長 田母野公彦

十月二十一日午前十時、
河野広中銅像前に集合し、
桜谷散策路踏査を実施しま
した。六月十二日に草刈り
をしながら行った月斎館散
策路踏査に続くものです。
出発の前に、もう一つの
活動、中世三春の遺跡巡り
も兼ねていたので、『三春の
歴史と文化財』をテキスト

に青空の下、ベンチで学習
を深めました。

桜谷散策路は歴史民俗資
料館の脇から福聚寺上に至
る小径で、かつて街並部会
が提案して作られたという
七つのルートの一つです。
閑静で魅力あふれる散策路
ですが、案内標識の設置場
所の再検討、途中に水槽等
あり危険防止策が必要、木
製のベンチ・竹製の柵が朽
ち果てている、中間の広場
は立木が繁茂しすぎて眺望
を遮っている、頂上の標識
が朽ち倒れている等が問題
点として指摘されました。
福聚寺に下り、中世以来
の城下町三春の基を築いた
田村氏三代の墓を詣で、天
野多津雄先生の歌碑に思い
を馳せ、改善策の提言方法
を検討しながら踏査を終了
いたしました。

環境部会

空き家の環境調査

部会長 渡辺 博行

九月に桜川沿いに大町か
ら八幡町までと、横丈六、
中町、荒町の一部の空き家
を見て歩きました。
とくに環境に関する問題
になるような空き家はな
かったようです。物置に
なっている空き家は、ネズ
ミなどで近所迷惑にならな
いよう注意が必要かと思
います。使用することので
きなくなった古い家でも簡
単に壊すわけにもいかず空
家になっているものもある
ようです。

街並部会

十月二十五日、昨年に引
き続き第二回石柱拓本ラ
リーを開催しました。今回
は参加者の声をご紹介します。

◇初めて参加して、とても
良かったです。来年もよ
ろしく願います。

◇街中散策に最良の気候に
恵まれ、人数も十八人と
適当な人数で、昨年同様
和気あいあいのうちに七
力所終了した。人とのふ
れあいも楽しかった。ま
た古い街中をゆっくり散
策できたのも良かった。
来年も楽しみにしていま
す。

◇初めて参加させていた
きました。町内の各地区
に石柱が何本もあること
が分かりました。普段、
車でばかり動いています
が、歩いてみるのもいい
ですね。
◇子どもの参加がなかった

ので、動きはスムーズ
だったが、反面、子ども
が参加できるように、拓
本ラリーの日を別の日に
するようにした方が良
かったと思う。学校との
打合せが必要ではないか
と思う。

◇昨年が続いて三春町再
見のラリーでした。小さ
な町にも様々な歴史、故
事来歴があり、興味が一
段と増すひとときでした。
◇今回は石柱を見て拓本を
楽しみましたが、石柱の
先にある光景を見聞した
くなりました。この先の
江戸街道、会津街道を歩
いたら、更に新しい発見
があるのではないかと。

◇歩いてみると車の中から
見えないものが沢山目に
飛び込んできた。一緒に
歩いた方々は物知りで優
しく話してくれ、なるほ
どとうなずくことが多
かった。由来ある石柱ば
かりでなく興味深い物
がまた一つと歩いてみて
良かった。今後も街並を歩
き、自分を高め、喜びを
増やしたい。



編集後記

三春まちづくり協会では、
今年度から毎月第二水曜日
に「定期出前懇談会」を開
催しています。

これまでのテーマは次の
通りです。四月「役場のし
くみ」、五月「生涯学習と
は」、六月「少子化対策」、
七月「もう一度見直そう。
ごみの分け方、出し方」、八
月「議会のしくみと役割」、
九月「桜川改修について」、
十月「通年観光について」の
考え方と観光あれこれ」、
十一月「まちづくり懇談
会」、十二月「三春の農業を
考える」。

こうして回を重ねてみる
と、町はいろいろな問題に
ついて様々な取組みをして
いることが分かります。あ
とは町民が町政に関心を持
ち、積極的に参加したり、
意見を述べたりすることが
大事。今後そういう場とし
て、この「出前懇談会」に
参加してくれる町民が増え
ることを望みます。

一月の開催は十四日。
テーマは「後期高齢者医療
制度について」です。
(永井)

コミュニティだより
「三春わが街」第五十一号
発行日 平成二十一年一月一日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広報部 会
三春町字大町一七八
(六二)三九八八